

製品名: WSTF (1Q9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19935**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	171kDa

抗原情報

遺伝子名	BAZ1B
別名	baz1b; hWALP2; WALP2; WBRS9; WBSC10; WBSCR10; WBSCR9; WSTF;
遺伝子 ID	9031.0
SwissProt ID	Q9UIG0
免疫原	ヒト WSTF の合成ペプチド

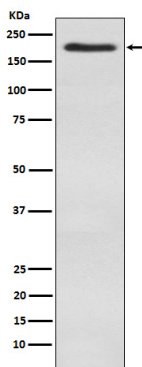
背景

クロマチンリモデリングにおいて中心的な役割を果たし、転写調節因子として機能する非定型チロシンタンパク質キナーゼ。ヒストン H2AX の「Tyr-142」 (H2AXY142ph) をリン酸化することにより、DNA 損傷応答に関与する。H2AXY142ph は DNA 修復において中心的な役割を果たし、遺伝毒性ストレスに対するアポトーシス応答と修復応答を区別するマーカーとして機能する。クロマチンリモデリングにおいて中心的な役割を果たし、転写調節因子として機能する非定型チロシンタンパク質キナーゼ (PubMed:19092802)。ヒストン H2AX の「Tyr-142」 (H2AXY142ph) をリン酸化することにより、DNA 損傷応答に関与する (PubMed:19092802, PubMed:19234442)。H2AXY142ph は DNA 修復において中心的な役割を果たし、遺伝毒性ストレスに対するアポトーシス応答と修復応答を区別するマーカーとして機能します (PubMed:19092802、PubMed:19234442)。ATP 依存性クロマチンリモデリング複合体である WICH-1 および WICH-5 の調節サブユニットである ISWI は、クロマチン上に整然としたヌクレオソーム配列を形成し、DNA 複製、転写、修復などの DNA テンプレートプロセスにおける DNA へのアクセスを促進します (PubMed:11980720、PubMed:28801535)。両複合体はクロマチン上のヌクレオソームの間隔を制御し、モノヌクレオソームを DNA テンプレートの中心ヘスライドさせる能力を有します (PubMed:28801535)。WICH-1 ISWI クロマチンリモデリング複合体は、WICH-5 ISWI クロマチンリモデリング複合体よりも ATP 加水分解速度が低い (PubMed:28801535)。WICH-5 ISWI クロマチンリモデリング複合体は、様々な遺伝子の転写を制御し、RNA ポリメラーゼ I 転写において役割を果たしている (類似性による)。B-WICH 複合体内では、RNA ポリメラーゼ III 転写において役割を果たしている (PubMed:16603771)。DNA 複製中に、WICH-5 ISWI クロマチンリモデリング複合体を複製フォーカスにリクルートする役割を担っている (PubMed:15543136)。

研究分野

-

画像データ



SH-SY5Y 細胞溶解物における WSTF 発現のウェスタン ブロット分析。